

鹿児島県感染症情報

2020年 第23週報 (6月1日~6月7日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、風水害などが発生した場合における災害時の「避難」と避難所での感染リスクを軽減させるための「適切な感染症対策」について、今一度考えてみてください。

災害時には断水により流水洗浄ができなかったり、避難所など密集した環境下での集団生活により、ノロウイルス等による感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症、また、高温多湿な時期も重なることから食中毒のリスクが高まります。自分がかからないよう、また、人にうつさないように心がけてください。

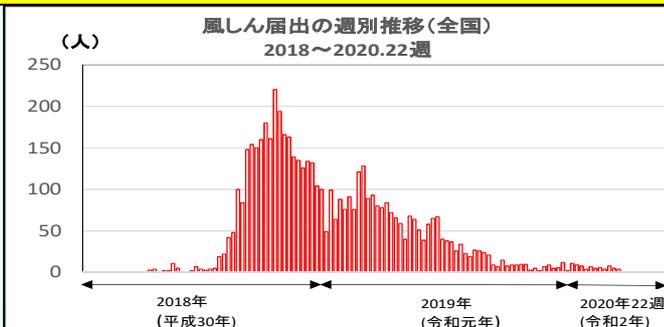
避難所での感染症対策としては、これまでどおり①手指衛生の励行、②咳エチケットの徹底、③共同トイレの衛生維持、④清潔な食品管理と食品衛生の徹底等が挙げられます。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難の考え方としては、次のようなことがあります。①避難所が過密状態になることを防ぐため、選択肢として親戚・知人宅を避難先に入れるなど検討しておいてください。②避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。市町村のホームページで確認するなど事前の準備が大切です。③避難用の持ち出し袋に、体温計、石けん、マスク等の衛生用品を追加してください。④発熱、咳等の症状がある方で避難所の利用を考えている場合は、事前に市町村へ連絡するなどしてください。

災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。適切に対応ができるよう万全を期してください。

風しんは2018年秋以降にピークを迎え、その後2019年秋にかけて漸次減少しました。風しんの発症予防には予防接種が極めて有効です。免疫が不十分な世代は予防接種を受けるようにしてください。

右の図は全国における風しんの2018年から2020年第22週までの週別届出の推移を示しています。風しんは2018年の7月頃から関東地方を中心に届出が増加しましたが、その後は減少を続け2019年9月以降は週あたりほとんどが10人以下で推移しています。一方、本県では2013年川薩地区を中心に386人の大流行がありましたが、その後は年間5人以下の届出数となっています。



☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例(肺結核1例, 無症状病原体保有者1例)
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	レジオネラ症1例
五類感染症	百日咳1例
指定感染症	発生報告なし

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点91, 小児科定点53です。
- ・第23週の定点把握対象疾患の総報告数は400人で、前週より26人多い報告数でした(4頁参照)。
- ・流行発生警報の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所該当なし。
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所該当なし。

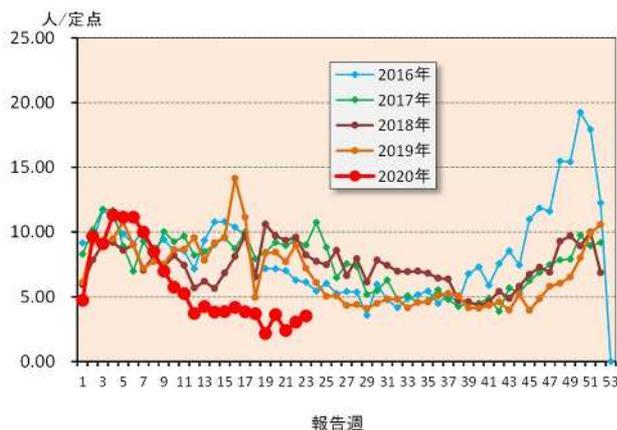
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第23週の感染性胃腸炎の報告数は190人で、前週より26人多く、定点当たりの報告数は3.58であった。

年齢別では、10～14歳（43人）、1歳（18人）、5歳、6歳、20～29歳（それぞれ15人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（7.40）、指宿保健所（7.00）、鹿児島市保健所（5.92）の順に多い。

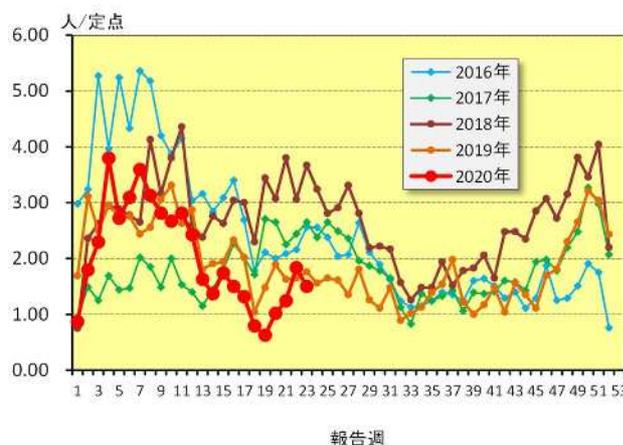


(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第23週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は81人で、前週より18人少なく、定点当たりの報告数は1.53であった。

年齢別では、6歳（16人）、4歳（14人）、2歳（10人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（3.25）、伊集院保健所（3.00）、出水保健所（2.67）の順に多い。

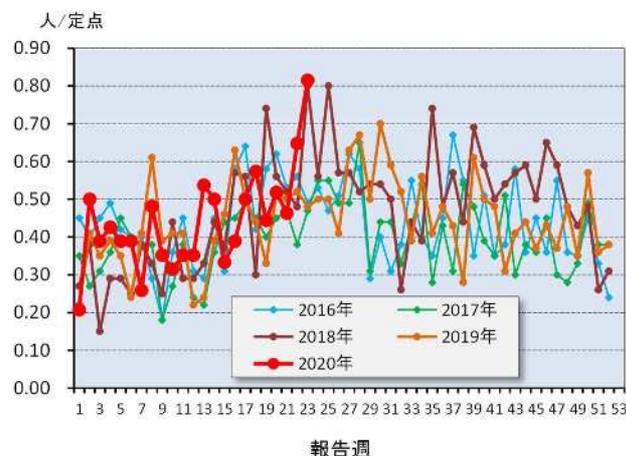


(3) 突発性発しん

第23週の突発性発しんの報告数は44人で、前週より9人多く、定点当たりの報告数は0.83であった。

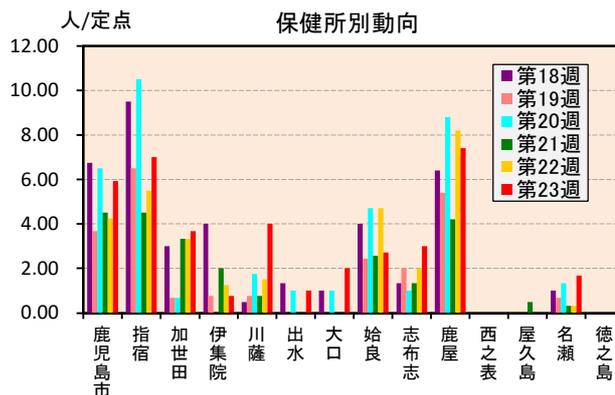
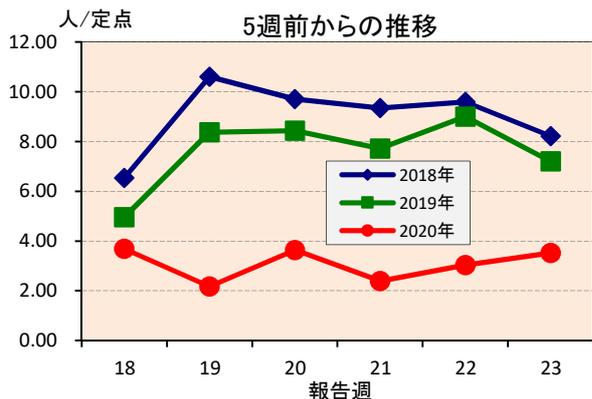
年齢別では、1歳（27人）、6～11ヶ月（14人）、2歳（2人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（2.00）、川薩保健所（1.75）、鹿児島市保健所（1.42）の順に多い。

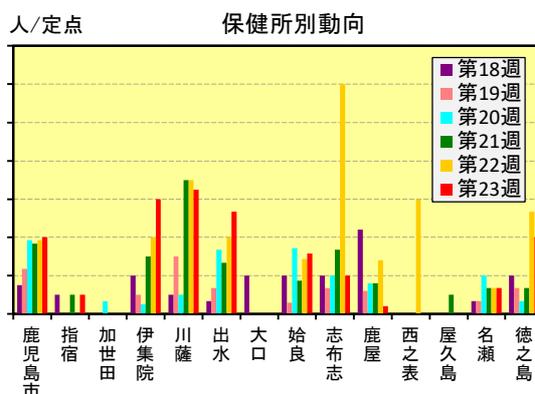
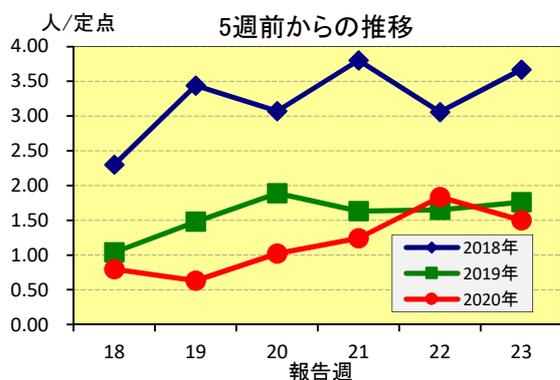


☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

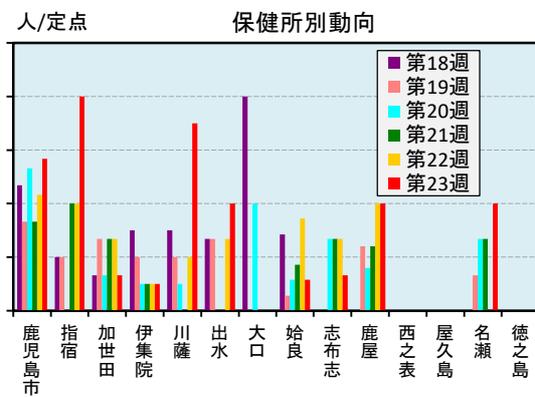
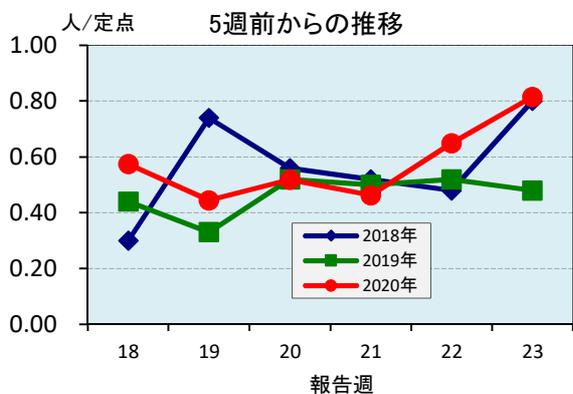
(1) 感染性胃腸炎



(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

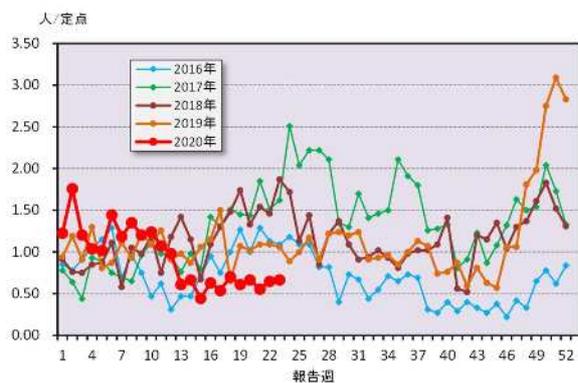


(3) 突発性発しん

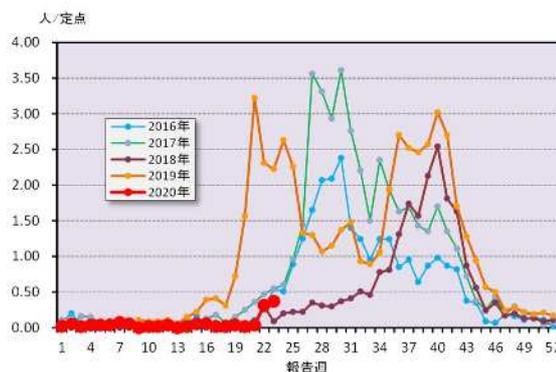


☆注目される感染症の発生状況/

★ 咽頭結膜熱（鹿児島県）



★ ヘルパンギーナ（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2020年	(報告週)	第23週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2020年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11,143
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	36	0.68	1,158
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	1.53	2,515
	○ 感染性胃腸炎	190	3.58	7,316
	水痘	2	0.04	375
	○ 手足口病	15	0.28	335
	伝染性紅斑	2	0.04	456
	○ 突発性発しん	44	0.83	547
	○ ヘルパンギーナ	20	0.38	73
	○ 流行性耳下腺炎	8	0.15	90
	RSウイルス感染症	-	-	274
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	1
	○ 流行性角結膜炎	2	0.29	89
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	1
	マイコプラズマ肺炎	-	-	14
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	7
報告数合計		400	0	24,397

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
		(2020年18週)	(2020年19週)	(2020年20週)	(2020年21週)	(2020年22週)	(2020年23週)
インフルエンザ	報告数	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	10	2	3	1	2	-
	定点当り	0.19	0.04	0.06	0.02	0.04	-
咽頭結膜熱	報告数	38	33	36	30	35	36
	定点当り	0.72	0.62	0.68	0.57	0.66	0.68
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	43	34	55	67	99	81
	定点当り	0.81	0.64	1.04	1.26	1.87	1.53
感染性胃腸炎	報告数	199	117	196	129	164	190
	定点当り	3.75	2.21	3.70	2.43	3.09	3.58
水痘	報告数	6	11	7	10	7	2
	定点当り	0.11	0.21	0.13	0.19	0.13	0.04
手足口病	報告数	17	15	9	12	9	15
	定点当り	0.32	0.28	0.17	0.23	0.17	0.28
伝染性紅斑	報告数	10	9	11	6	3	2
	定点当り	0.19	0.17	0.21	0.11	0.06	0.04
突発性発しん	報告数	31	24	28	25	35	44
	定点当り	0.58	0.45	0.53	0.47	0.66	0.83
ヘルパンギーナ	報告数	1	2	1	2	17	20
	定点当り	0.02	0.04	0.02	0.04	0.32	0.38
流行性耳下腺炎	報告数	2	3	7	6	2	8
	定点当り	0.04	0.06	0.13	0.11	0.04	0.15
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	4	2	2	2	-	2
	定点当り	0.57	0.29	0.29	0.29	-	0.29
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	3	-	-	-	-
	定点当り	0.08	0.25	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2020年23週(06月01日～06月07日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	0	0.00	36	0.68	81	1.53	190	3.58	2	0.04	15	0.28	2	0.04	44	0.83
鹿児島市	-	-	-	-	8	0.67	24	2.00	71	5.92	1	0.08	10	0.83	1	0.08	17	1.42
指宿	-	-	-	-	-	-	1	0.50	14	7.00	-	-	-	-	-	-	4	2.00
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	11	3.67	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33
伊集院	-	-	-	-	4	1.00	12	3.00	3	0.75	-	-	3	0.75	-	-	1	0.25
川薩	-	-	-	-	5	1.25	13	3.25	16	4.00	-	-	1	0.25	-	-	7	1.75
出水	-	-	-	-	7	2.33	8	2.67	3	1.00	-	-	-	-	-	-	3	1.00
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	7	1.00	11	1.57	19	2.71	-	-	-	-	-	-	2	0.29
志布志	-	-	-	-	-	-	3	1.00	9	3.00	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
鹿屋	-	-	-	-	3	0.60	1	0.20	37	7.40	-	-	1	0.20	-	-	5	1.00
西之表	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	2	0.67	5	1.67	-	-	-	-	-	-	3	1.00
徳之島	-	-	-	-	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(チラム菌は除く)		総数(肺炎球菌を除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	20	0.38	8	0.15	0	0.00	2	0.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	10	0.83	2	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	7	1.75	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-
名瀬	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）
2020年23週(06月01日～06月07日)

疾病名	報告数 定点当り	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳		2		3		4		5		6		7		8		9		10～14		15～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80歳～					
		報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り				
(インフルエンザ定点報告疾病) インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(小児科定点報告疾病) RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
咽頭結膜熱	36	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.68	0.11	0.47	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水痘	1.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病	190	2	13	18	11	10	11	15	15	8	11	9	43	9	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	3.58	0.04	0.25	0.34	0.21	0.19	0.21	0.28	0.28	0.15	0.21	0.17	0.81	0.17	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	44	1	14	27	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病) 急性出血性結膜炎	0.83	0.02	0.26	0.51	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(基幹定点報告疾病) 細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-